

お手入れ時の注意事項

商品を長くお使いいただくため、本書に従ってこまめにお手入れを行ってください。
お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れが、しみや腐食の原因となり、他の不具合につながる場合があります。特に海岸地域や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすくなります。

また、ご自身で調整を行う場合も、本書に従って行ってください。

ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または当社お客様相談室に修理を依頼してください。

お願い

【調整する場合】

商品を調整する際は、電動ドライバーを使用しないでください。
商品の不具合や破損の原因となります。

【水への配慮】

お手入れの際、窓やドアにホースや高圧洗浄機などで勢いよく水をかけないでください。
室内側へ水が入るおそれがあります。

ポスト口に、ホースなどで直接水をかけないでください。
内部の郵便物が濡れるおそれがあります。

【薬品への配慮】

お手入れの際、有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）を使用しないでください。
有機溶剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

お手入れの際、塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）やエチルアルコールを使用しないでください。
表面に付着すると、変色するおそれがあります。
付着した場合は、すみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

たわしや金属たわしなどは、絶対に使用しないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

布やスポンジに砂などが付着したままふき掃除をしないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

お願い

【アルミ製商品】

表面に汚れがついた場合は、早めに洗い落としてください。
汚れがついたまま放置すると、しみ、腐食、色落ちするおそれがあります。

【スチール製商品】

玄関ドアの鋼板表面を水や中性洗剤でふいても、艶や色あせが改善されない場合は、研磨剤の入っていないワックスを使ってお手入れすることをお勧めします。

※ワックスの一例：植物成分100%のワックス

※ワックスを使用する際は、その用途を確認し、説明書に従ってお手入れしてください。
ドア鋼板に適さないワックスは、変色や汚損の原因となりますので使用しないでください。

【樹脂製商品】

ストーブやアイロンなどの熱源を近づけないでください。
熱源を近づけたり、触れたりすると、変形することがあります。

樹脂表面に、殺虫剤などの薬剤を塗布・散布しないでください。
薬剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

【アクリル・ポリカーボネート板】

商品に有機溶剤を含む、殺虫剤やガラスクリーナーを塗布・散布しないでください。
有機溶剤が付着すると、ひび割れが発生するおそれがあります。

【ガラス】

お手入れの際は、必ず柔らかい布をご使用ください。
ガラス表面にキズがつくと、割れるおそれがあります。
ガラス表面にキズがついた場合はお早めに、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、またはお客様相談室にご相談ください。

【電動商品】

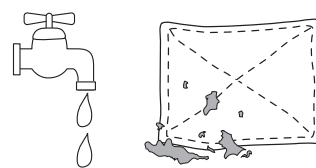
お手入れの際、電装部品に水がかからないようご注意ください。
水がかかると、故障するおそれがあります。
電装部品に不具合が生じた場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、またはお客様相談室にご相談ください。

お手入れ方法

■通常のお手入れ（ハンドル・引手含む）

1 表面のホコリ・砂を落とす

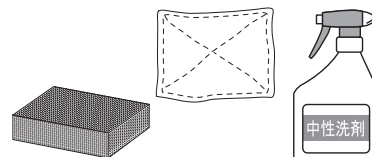
柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。



2 水ぶきする

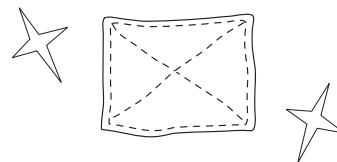
柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



3 水分をふき取る

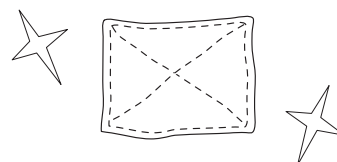
乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



■結露・雨水などがかった場合

1 水分をふき取る

すみやかに乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



下枠・レール

- 下枠やレールは、特に砂、ホコリ、ゴミなどがたまりやすいところです。こまめにお手入れしてください。

■下枠・レールのお手入れ

1

砂やホコリを吸い取る

レールのミゾ内部にたまった砂やホコリを掃除機で吸い取ります。

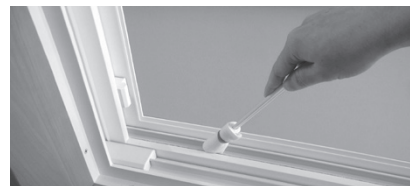
または、やわらかいブラシで砂やホコリを落とします。



2

汚れをふき取る

割り箸の先に布を巻き付け、さらに汚れをふき取ります。



■土間引戸の下枠レール間に水がたまった場合

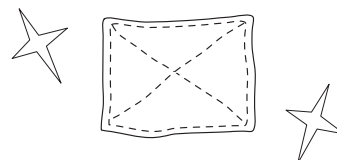
1

水分をふき取る

下枠に水がたまった場合は、乾いた布で水分をふき取ります。

お願い

時間が経つと水は流れていきますが、気になる場合は、ふき取ってください。



ガラス

● ガラスに浮き出る吸盤やラベルの跡について

ガラス表面が曇った時など、製造や施工の際に使用する吸盤の跡や、施工時に貼ってあるラベルの跡が浮き出てくることがあります。

これは、ガラスの機能や性能に影響を及ぼすものではありませんが、通常のクリーニングでは除去できない場合があります。中性洗剤で落とすことが難しい場合は、カー用品店やホームセンターで購入できる「自動車用油膜除去剤」（酸化セリウム配合）で除去できます。

ご使用にあたっては、「油膜除去剤」に添付されている取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。

■ ガラスのお手入れ

第4章

窓

網戸

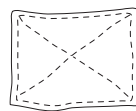
ドア 引戸

お手入れ

1

汚れをふき取る

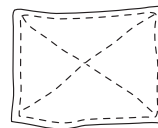
柔らかい布に中性洗剤（1～2%の水溶液）を浸し、汚れをふき取ります。



2

水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



網戸（ネット部分）

● 網戸の取りはずし方・取り付け方は、「お手入れ・調整方法」を参照してください。

1 ネットを水洗いする

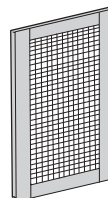
ネットがはずれないように柔らかいブラシやスポンジで軽く押さえるように水洗いします。

※汚れが落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使い、軽く洗い流します。



2 水分をふき取る

水分を十分にふき取り、乾燥させます。

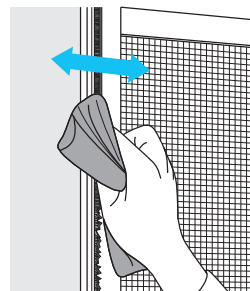


網戸（モヘア部分）

1 モヘア表面のホコリ・砂を落とす

柔らかい布や柔らかいブラシに水を浸し、モヘアの毛並みに沿うように水洗いします。

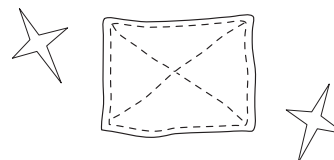
※汚れが落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使い、軽く洗い流します。



2 水分をふき取る

モヘアの毛並みに沿うように水分を十分にふき取り、乾燥させます。

※モヘアが毛束になっている場合は、毛束をほぐしながら水分をふき取ります。



カギ・カギ穴

お願い

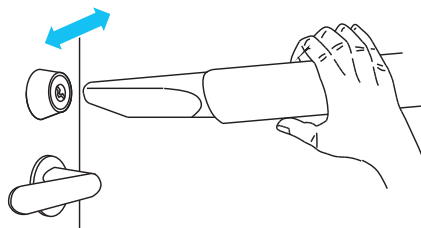
- 油が含まれている潤滑剤（CRC、シリコーンスプレーなど）は使用しないでください。ゴミやホコリがカギ穴内部に付着し、作動不良や故障の原因となります。

■カギ穴のお手入れ

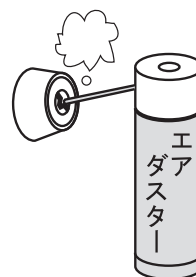
1

ゴミを吸い出す

掃除機をカギ穴につけ、左右に振って中のゴミを吸い出します。



または
パソコンのキーボードのゴミを飛ばすエア
ダスターなどを使って中のゴミを吹き飛ば
します。



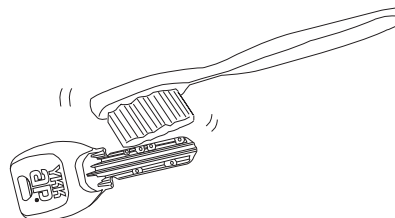
■カギのお手入れ

1

汚れをかき出す

古い歯ブラシなどで、きざみ部分やミゾの
汚れをかき出します。

※定期的に掃除をしてください。



■カギ穴の抜き差しがスムーズにできない、または重い時

1 きざみ部分やミゾを黒く塗る

カギのきざみ部分やミゾを鉛筆でなぞり、黒く塗ります。

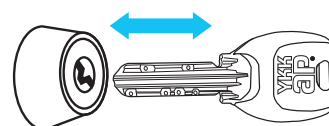
または
錠前潤滑剤をカギ穴に少量スプレーします。

※錠前潤滑剤のご購入はYKKAP Parts Shop まで。
(<http://parts.ykkap.co.jp/shop/>)



2 カギを抜き差しする

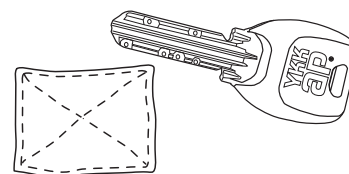
カギ穴に差し込み、数回抜き差しします。



3 鉛筆の黒い粉や錠前潤滑剤をふき取る

カギに付着した鉛筆の黒い粉または錠前潤滑剤を布などでふき取ります。

※必ずふき取ってください。そのまま使用すると、衣服等を汚す場合があります。



通風引戸用網戸

網戸の取りはずし方

玄関引戸の上げ下げ障子と引戸の間にある網戸はお手入れの際などに、取りはずすことができます。



上げ下げ障子

ご使用前に確認してください

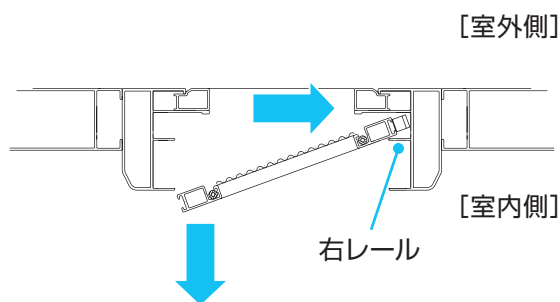
- 必ず、「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

1 上げ下げ障子を全開にする

➡「使い方」の通風引戸（玄関引戸）の「上げ下げ障子の使い方」

2 網戸を取りはずす

網戸を右のレールに押し付け、網戸の左側を室内側に引いてはずします。

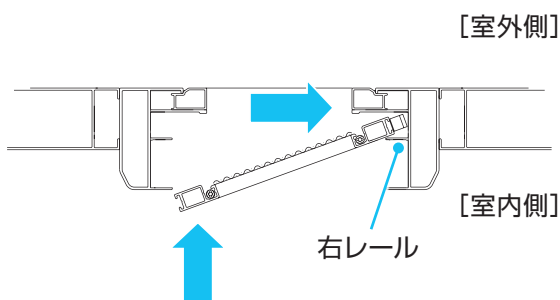


網戸の取り付け方

1 網戸を取り付ける

網戸の右側を右のレールに押し当て、網戸の左側を室外側に押してレールにはめ込みます。

網戸を前後左右に軽くゆすり、はずれないことを確認します。



2 上げ下げ障子を閉める

➡「使い方」の通風引戸（玄関引戸）の「上げ下げ障子の使い方」

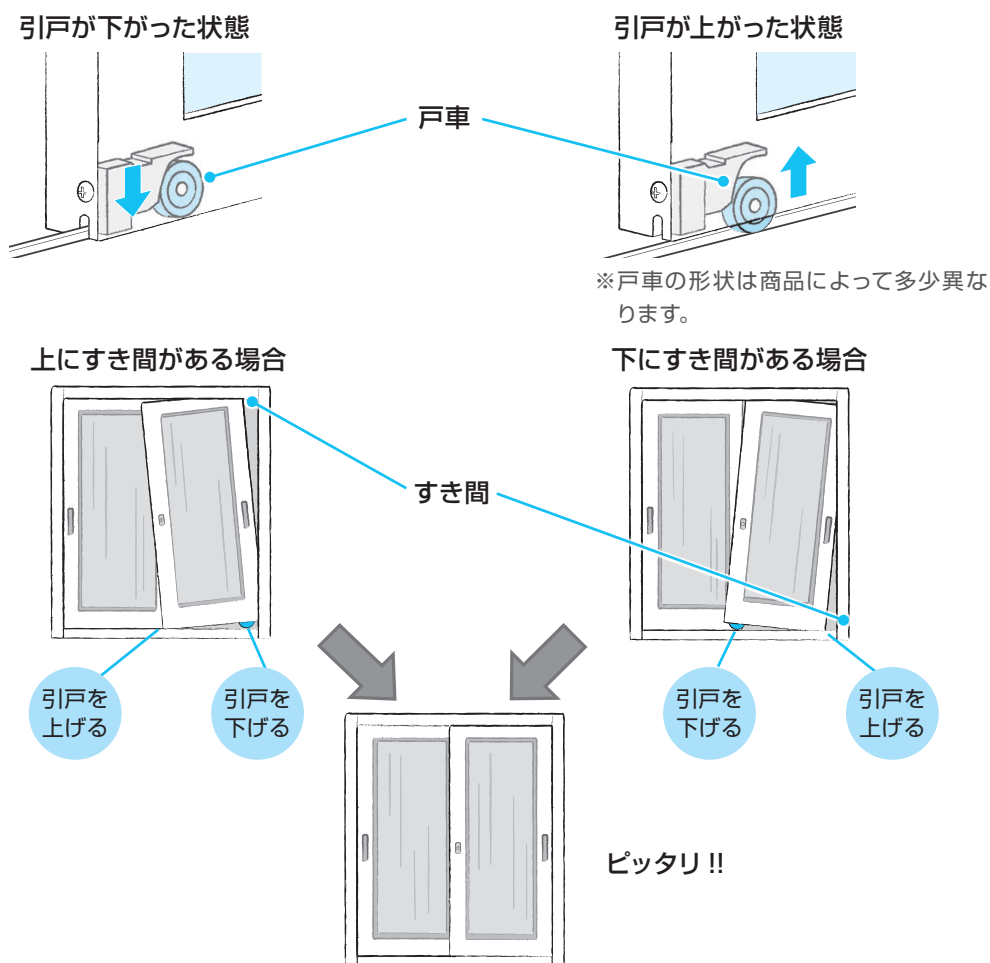
玄関引戸・勝手口引戸

戸車とは

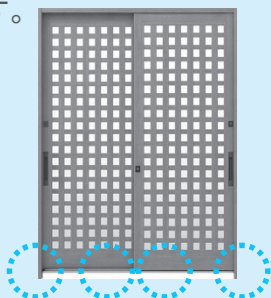
引戸の下両端（内部）にある車輪状の部品で、戸車を調整すると引戸の高さが変わり、傾きを調整することができます。引戸がピッタリ閉まらないときは、戸車を調整してください。

ご使用前に確認してください

- 必ず、「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

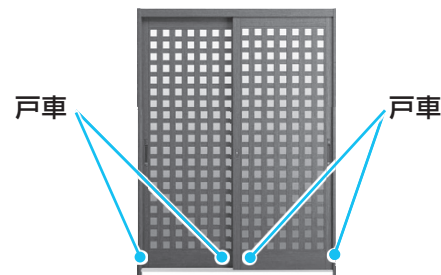


戸車は、各引戸の下両端にあります。



戸車の調整方法

引戸を閉めてもピッタリ閉まらないときは、戸車を調整して引戸の傾きを直してください。



玄関引戸「れん樹」「冴Ⅱ」「80 型」の場合

1

戸車を調整する

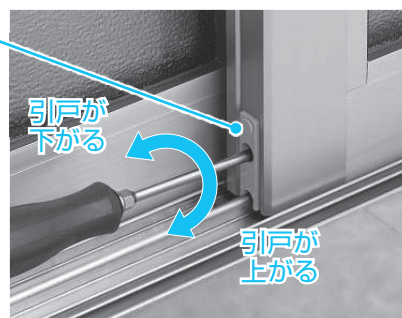
プラスドライバーをネジ穴に差し込み、調整ネジをまわして戸車を調整します。

※戸車を調整すると引戸の高さが変わります。

お願い

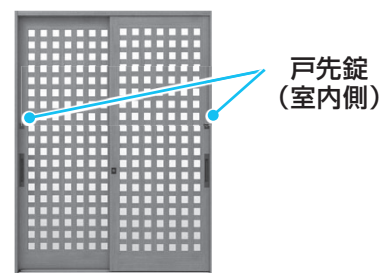
- ネジは絶対にはずさないでください。引戸内部の部品がはずれ、元に戻せなくなるおそれがあります。

戸車調整穴



戸先錠の調整方法

召合せ錠、戸先錠をロックしても引戸がガタついたり、ロックしにくくなった時は、戸先錠、受け金具の位置を調整してください。



玄関引戸「れん樹」「冴Ⅱ」の場合

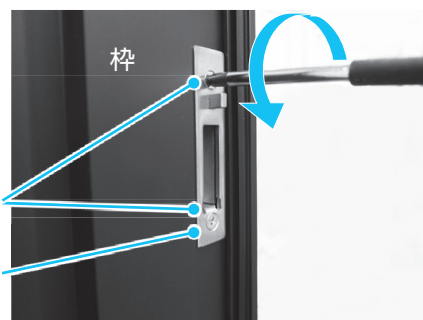
1 引戸を開ける

2 錠受けの取り付けネジをゆるめる

プラスドライバーで枠側にある錠受けの取り付けネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

取り付けネジ

錠受け



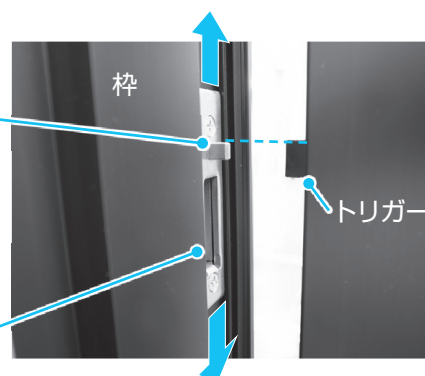
3 トリガーと錠受けの位置を調整する

錠受けを動かして、錠受けの突起部とトリガーの上端の位置を合わせます。

突起部

錠受け

トリガー

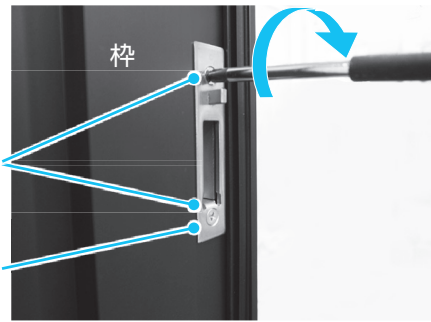


4 取り付けネジをしめる

プラスドライバーで錠受けの取り付けネジを時計回りにまわしてしめます。

取り付けネジ

錠受け



5 戸先錠がかかることを確認する

戸先錠

